

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	八ヶ岳少年自然の家	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 一般社団法人富士見町開発公社 ・代表者名 理事長 小林 一彦 ・所在地 長野県富士見町富士見6666番地703	評価者	青少年育成課長
指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日	所管課	市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課

2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 99,126人 (平成25年度:95,767人)	②年間延べ利用団体数 800団体 (平成25年度:745団体)																																		
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 指定管理料</td> <td style="text-align: right;">284,528,128</td> </tr> <tr> <td> 利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">9,542,230</td> </tr> <tr> <td> 自主事業収入</td> <td style="text-align: right;">1,519,450</td> </tr> <tr> <td> その他収入(食堂他)</td> <td style="text-align: right;">90,294,705</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">385,884,513</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">160,793,906</td> </tr> <tr> <td> 光熱水費</td> <td style="text-align: right;">27,206,620</td> </tr> <tr> <td> 委託費</td> <td style="text-align: right;">26,540,299</td> </tr> <tr> <td> 消耗品費</td> <td style="text-align: right;">43,560,444</td> </tr> <tr> <td> 食材料費</td> <td style="text-align: right;">65,280,751</td> </tr> <tr> <td> 修繕費</td> <td style="text-align: right;">16,510,223</td> </tr> <tr> <td> その他経費</td> <td style="text-align: right;">37,533,852</td> </tr> <tr> <td> 合 計</td> <td style="text-align: right;">377,426,095</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">8,458,418</td> </tr> </table>			単位:円	1 収入		指定管理料	284,528,128	利用料金収入	9,542,230	自主事業収入	1,519,450	その他収入(食堂他)	90,294,705	合 計	385,884,513	2 支出		人件費・賃金	160,793,906	光熱水費	27,206,620	委託費	26,540,299	消耗品費	43,560,444	食材料費	65,280,751	修繕費	16,510,223	その他経費	37,533,852	合 計	377,426,095	3 差引	8,458,418
	単位:円																																			
1 収入																																				
指定管理料	284,528,128																																			
利用料金収入	9,542,230																																			
自主事業収入	1,519,450																																			
その他収入(食堂他)	90,294,705																																			
合 計	385,884,513																																			
2 支出																																				
人件費・賃金	160,793,906																																			
光熱水費	27,206,620																																			
委託費	26,540,299																																			
消耗品費	43,560,444																																			
食材料費	65,280,751																																			
修繕費	16,510,223																																			
その他経費	37,533,852																																			
合 計	377,426,095																																			
3 差引	8,458,418																																			
サービス向上の取組	利用者にアンケートを行い意見を取り入れた活動をしている。また、老朽化の著しい施設の修繕を行い利用者の安全確保に努めた。																																			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	4	4
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	4	4
	(評価の理由)	施設に目的に沿って、恵まれた自然環境を活かし、団体宿泊生活を通して心身を鍛錬し健全な少年の育成を図るべく、事業計画に沿って各種主催事業を推進した。自然教室も台風による延期はあったものの、全校実施できた。学校利用の少ない時期についても市民利用を促進している。 利用者数は昨年度より約5%増加、第1期指定管理時の平均と比して、11.2%の増であった。 【参考】第1期指定管理時(平成18年度～平成22年度)平均利用者数:89,156人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
	効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか				
	(評価の理由)	仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。 施設の老朽化による経費の増加はあったが、全体的な経費見直しにより黒字を確保できた。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	5	5
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
(評価の理由) メールマガジンやラジオでの定期的な情報配信、ホームページ更新やカラー刷りパンフレットの配布に加え、長野県富士見町から赴き、川崎市内の商業施設やイベントにブースを出展して活動を紹介するなど積極的な広報を行った。 利用者に対する接遇について、適切に対応をしていた。 学校との利用調整を頻繁に行い、八ヶ岳の自然豊かな環境を活かした活動について提案を行っており、年間を通して学校団体の利用や市主催事業の開催でスケジュールが密に組まれている。 利用者ニーズ把握のためにアンケートを実施し、地域住民との交流事業推進を行っている。また、アレルギーなど食の安全について代替食の用意や誤食を防止するために皿の色分けて提供を行っている。					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
(評価の理由) 必要な資格者が採用され、計画どおりの人員配置が行われた。 年間を通して予定どおりの研修が計画的に実施された。 個人情報の取扱いについても適切な運用がなされていた。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	利用者の安全確保	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	防犯対策	施設の防犯のための工夫がされているか	5	4	4
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	3	3	
	災害発生時のマニュアル等が整備されているか				
(評価の理由) 経年による老朽化が進む施設を維持するため、修繕の必要な箇所を把握し、利用者が安全に利用できるよう暖房器具39台の取替などの整備を積極的に行った。 事故等が発生した場合のマニュアルが整備され、適切な対応がされていた。 防犯に係る緊急時のマニュアルを整備して職員全員に周知するよう工夫、計画にある防犯のための取組も実施されていた。 災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練等が実施されていた。					

注)

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

八ヶ岳の自然を十分に生かした事業展開や教育委員会及び学校との連携を密にして自然教室を円滑に受入れるなど、施設の効用を適切に発揮している。メールマガジンやラジオなどで定期的に情報配信を行い、学校利用の少ない時期についても市民利用を促進しており、利用者アンケートに基づく適切な改善を実施することで、満足度・利便性の向上に取り組んでいる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き自然環境を活かした体験学習の提供や、これまでに展開してきた広報媒体の維持及び職員の更なる資質向上に努め、今後も適切な管理運営を行うこと。